

**熊本県福祉サービス運営適正化委員会委員決まる**

8月6日(金)に開かれた選考委員会の同意を得て、社会福祉法第83条に基づく熊本県福祉サービス運営適正化委員会の委員が、次のとおり決まりました。

選考区分		委員所属団体	氏名	更新
有する者 学識経験を 社会福祉に 関し	ア 公益を代表する者	熊本県社会福祉士会	藤澤 美保	再
	イ 福祉サービス利用援助事業の対象者を支援する団体を代表する者	熊本県民生委員児童委員協議会	光永 令昭	再
	ウ 福祉サービスの提供者を代表する者	熊本県手をつなぐ育成会	松田 勝海	再
法律に関し学識経験を有する者		熊本県老人福祉施設協議会	中山 泰男	再
医療に関し学識経験を有する者		熊本県弁護士会	田尻 和子	再
		熊本県医師会	林 邦雄	新
		熊本県精神保健福祉士協会	坂本 亮子	再

任期：平成22年8月21日～平成24年8月20日

**「対人援助技術と生活支援員活動のポイント」について学ぶ**

8月31日(火)、くまもと県民交流館パレアで、「平成22年度県地域福祉権利擁護事業生活支援員等研修会」を開催し、生活支援員及び担当職員158名の参加がありました。

千葉県のカ T 福祉研究所の松藤和生代表を講師としてお迎えし、午前中は、「対人援助技術と生活支援員活動のポイント～利用者の自立を支えるために～」と題して、生活支援員として利用者とかかわるうえでの基礎的な知識について、講義がありました。

午後は、引き続き松藤氏の進行で、グループに分かれての事例検討の演習を行い、生活支援員としての役割や注意点について学習を深めました。

「福祉援助者として、利用者の持つ力を最大限生かして、利用者の持つ特性に即した形で、利用者の問題解決を目指すことが望ましい」、「こちらから手を出して援助するというよりも、見守るという姿勢が大事である」と話され、利用者の自立を支える生活支援員には、意義ある研修となりました。



【研修会の様子】

**第1回県民間社会福祉事業従事者退職共済事業運営委員会を開催**

8月23日(月)、メルパルクくまもとで、熊本県民間社会福祉事業従事者退職共済事業運営委員会が開催され、「平成21年度事業報告について」と「退職共済制度財政決算状況及び財政再計算について」の2議題が審議されました。

「平成21年度事業報告について」では、加入状況と退職状況が次のように報告されました。

平成21年4月1日現在の加入者数は395事業所、9,047人。平成21年度1年間の新規加入数は16事業所、1,334人。退職者数及び給付金額は963人、5億7017万843円でした。

また、「退職共済制度財政決算状況及び財政再計算について」では、信託銀行から2009年度・2010年7月期運用実績ならびに今後の見通しと、退職共済制度財政再計算結果及び決算推移が報告されました。

「昨年度の資産運用実績は、2008年のリーマンショックの影響が現在も続いており、良い状況とは言えない。今後の見通しは、株価は緩やかに上昇傾向に向かうと予想するものの、米国の景気対策等で値動きが大きい相場展開を予想しており、機動的な投資行動が求められる」と報告されました。

## 「第5回火の国ボランティアフェスティバル阿蘇」開催迫る 今回のテーマは『元気』

「ボランティア活動日本一」をめざして「第5回火の国ボランティアフェスティバル阿蘇」が10月23日（土）から24日（日）まで、阿蘇市内牧の阿蘇市立阿蘇体育館をメイン会場として開催されます。

今回は、「元気」をテーマとした講演会、阿蘇地域のボランティア活動を福祉・環境・地域おこし・子育てと学校ボランティアの4つに分けて学ぶ分科会のほか、2日目は阿蘇ブロックで毎年開催している「阿蘇やまびこふれあいフェスタ」で好評を得ている社会福祉協議会職員等が演じる福祉劇などが披露されます。

また、できる限り参加者の移動の負担を少なくするよう配慮するため、宿泊施設（宿泊費（朝食付き）6,000円程度）をはじめ、すべての会場がメイン会場のある阿蘇市内牧周辺の施設を利用します。

参加申込方法や詳細については、9月上旬頃に開催案内を各市町村社協に送付し、本会ボランティアセンターホームページでも紹介します。今回も盛りだくさんのメニューを阿蘇のボランティアが一体となって催しますので、ぜひ皆さんお誘いあわせのうえご参加ください。

## ボランティア実態調査 速報

6月初旬から各市町村社協の協力を得て「ボランティア・市民活動実態調査」を実施し、本年4月1日現在の県内の個人ボランティア数、ボランティア団体数及びその構成員数がまとまりました。

個人ボランティア数は2,304人、ボランティア団体数は1,082団体、同構成員は86,166人となっています。したがって、県内のボランティア数は88,470人となり、県人口1,810,127人のうち4.89%がボランティア活動に参加していることとなります。ボランティア数は隔年で調査していますが、前回の平成20年度比では、33,692人減となり、これまでは年々増加の傾向にありましたが、今回の調査では残念ながら減少しています。

この減少傾向は全国的なもので、全社協調べでは19年度は8,327,670人から21年度は1,023,581人減の7,304,089人となっており、この調査でも初めて減少しています。この要因の一つとして、近年の不況による影響ではないかと考えられています。

## 社会福祉法人労務研修会を開催 ～人事制度について考える～

8月30日（月）にKKRホテル2階で、平成22年度社会福祉法人労務研修会が開催され183名の参加がありました。

本研修会では県社協の社会福祉法人経営専門相談員の上田吉勝氏から「人材育成と賃金のあり方 ― 定着率を高めるために ―」と題して講義が行われました。

これからの社会福祉法人としての人材育成と働く人の意欲を高める評価のあり方について解りやすい内容で、参加者も熱心に耳を傾けられていました。



【研修会の様子】

## 社会福祉振興基金の助成先決まる～ボランティアアドバイザー・小規模団体～

平成22年度社会福祉振興基金の助成金交付が、次のとおり決定しました。

### 1 ボランティアアドバイザー養成研修事業への助成

・八代市社会福祉協議会 ・菊池市社会福祉協議会 ・玉東町社会福祉協議会 ・西原村社会福祉協議会

### 2 小規模団体活動支援事業への助成

市町村名	団体名	事業内容
1 熊本市	社会福祉法人 わくわく	冷凍冷蔵庫の購入
2 八代市	NPO法人 八代福祉開発集いの家	テント一式購入
3 八代市	社会福祉法人みどり福祉会 社会就労センター ワークショップ八代	薪裁断時におけるチェンソー購入
4 八代市	地域活動支援センター きらきらの里	喫茶「きらきら」開店
5 荒尾市	NPO法人花梨の家 わがんせ	名刺・カタログ・パンフレットなどを作成するためのパソコン周辺機器等の購入
6 水俣市	社会福祉法人親和会 水俣福祉作業所	作業場の修繕
7 水俣市	社会福祉法人 さかえの杜	パソコン(周辺機器含む)購入
8 上天草市	NPO法人 どんぐり村	環境整備のためのエアコン購入
9 御船町	特定非営利活動法人 みらねデコボコ会	作業所玄関前のスロープ工事
10 益城町	NPO法人 奏気流	さをり織り
11 錦町	NPO法人 くれよんのもり	屋外建物入口の床上げスロープ化工事

# 各課トピックス

\* お問合せは、県社協各課まで

総務課	県民福祉課
TEL 096-324-5454 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5470 / FAX 096-355-5440
<p><b>◆職員情報交換会(勉強会)の年間計画◆</b>            本会では、職員間の情報の共有及びモラルアップのために、毎年度事務局の内部研修を開催しています。本年度の計画は次のとおりです。</p> <p>第1回 文書管理ソフトRidocの基本操作 9月            第2回 心と体の健康に関する研修会 11月            第3回 個人情報管理システムの評価及び改善策等について 1月</p>	<p><b>◆市町村社協監事・会計責任者研修会について◆</b>            社協の運営に関してチェックを行う監事、会計を統括する責任者を対象に、適正で有効な社協経営と内部牽制体制の構築を図ることを目的に研修会を実施します</p> <p>日時 9月14日(火) 10:00~16:00            会場 熊本交通センターホテル 3階 大ホール            テーマ 社協会計の基礎・内部牽制の構築と適正な会計処理            講師 宮崎県社会福祉協議会 人材育成課長 鈴木俊昭氏</p>
施設福祉課	民生課
TEL 096-324-5462 / FAX 096-355-5440	TEL 096-324-5475 / FAX 096-355-5440
<p><b>◆会計実務研修会のご案内◆</b>  <b>〈保育所対象〉</b>            社会福祉法人(今回は保育所経営法人)を対象に次のとおり会計研修会を開催します。案内の文書は近々送付予定です。</p> <p>日時 9月30日(木) 13:30~16:00            場所 県民交流館パレオ9F会議室1            テーマ:「社会福祉法人会計の基礎研修(保育所における法人会計)」            講師 公認会計士 立石 和裕氏            参加費 一人 3,000円</p>	<p><b>◆就職安定資金融資制度の申請受付終了について◆</b>            事業主都合による離職等に伴う住居喪失者に対して、ハローワークと労働金庫の連携により、住宅入居初期費用、家賃補助費及び生活・就職活動費の貸付けを行う就職安定資金融資制度が、利用件数の減少等を理由に9月末を以て申請受付を終了することとなりました。</p> <p>つきましては、当該制度を補完する目的で創設された総合支援資金への申請・相談が増えることが予想されますが、対象要件や運用に特段の変更はありませんので、市町村社協におかれましては、従前通りご対応ください。</p>
福祉人材・研修センター	地域福祉権利擁護センター
TEL 096-322-8077 / FAX 096-324-5464	TEL 096-324-5474 / FAX 096-355-5440
<p><b>◆介護支援専門員実務研修受講試験の実施について◆</b>            標記試験案内の配布及び周知につきましては、ご協力をいただきありがとうございました。</p> <p>受験申込みを7月5日(月)から16日(金)まで受付けたところ、2,882人から申込があり、前年度より129人増となりました。</p> <p>試験日は10月24日(日)、会場は熊本学園大学を予定しており、受験者には10月上旬ごろ、受験票を発送します。</p>	<p><b>◆利用状況のお知らせ◆</b>            地域福祉権利擁護事業の7月末現在の利用者は、601名です。内訳は、認知症高齢者の方が324名(54%)、知的障がい者の方が125名(21%)、精神障がい者の方が92名(15%)、その他の方が60名(10%)となっています。</p> <p>また、本年4月1日で全市町村社協への全面的な委託が完了しており、現在43市町村で利用されています。今後も、県内どここの地域でも、必要な人がサービスを利用できるように、積極的に推進していきます。</p>
ボランティアセンター	福祉サービス評価センター
TEL 096-324-5436 / FAX 096-324-5427	TEL 096-324-5473 / FAX 096-324-5456
<p><b>◆市町村社協ボランティア・コーディネーター研修会のご案内◆</b>            今回は、社協職員として必要な会議、ミーティングにおける発言や参加の促進、発言内容の整理、参加者の認識の統一や合意、相互理解、参加者の活性化や協働の促進などの「ファシリテーション技術」の基礎を演習形式で学びます。</p> <p>○日時 平成22年11月17日(水)10時から17時まで            ○会場 熊本県総合福祉センター5階 研修ホール            ○講師 加留部 貴行(かるべたかゆき)氏            九州大学大学院統合新領域学府 特任教授など</p>	<p><b>◆「介護サービス情報の公表」調査結果を公表します◆</b>            平成22年度の「介護サービス情報の公表」の調査が8月から始まっています。</p> <p>各事業所のサービス内容や運営状況等の情報は、「熊本県指定情報公表センター」のホームページに公表しています。</p> <p>平成22年度の調査結果は9月末から随時更新いたしますので、ぜひ一度ご覧ください。</p> <p>【<a href="http://www.kaigo-kouhyou-kumamoto.jp/">http://www.kaigo-kouhyou-kumamoto.jp/</a>】</p> <p>熊本県介護サービス情報公表センター <input type="button" value="検索"/></p>